

事例研究の進め方について

—適切な生徒指導を求めて—

教育相談部

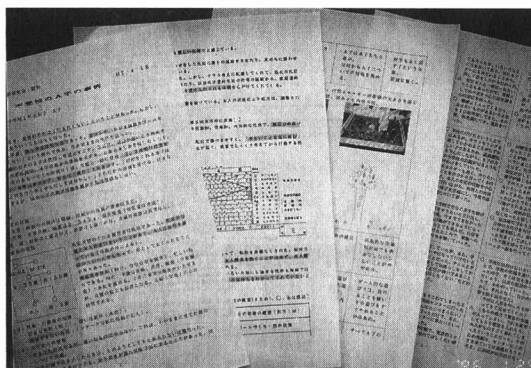
◆ なぜ、事例研究なのか？

事例研究は、児童生徒に対する適切な指導援助の方法を探るために行います。そして結果として、教師自身の生徒指導の技量を高める機会にもなります。



これは、学校カウンセラー講座のものですが、実態に応じて精選していくことが可能です。

◆ そこで、事例研究会は？



事例の性質や校内事情にそって簡単な事例をまとめ、事例研究会を行うことが大切です。その際、次のような点に留意したいものです。

◆ さて、事例のまとめ方は？

事例のまとめ方には、様々な形式があります。

- 1 主訴
- 2 対象
- 3 問題の概要
- 4 資料
- 5 問題の要因及び背景
- 6 指導援助の方針
- 7 指導援助の経過
- 8 成果と課題

- 事例の内容の秘密をもらさない。
- 事例に即した具体的・建設的な発言をする。
- 表面的な分析で結論を急がない。
- 意見の食い違いを大切にして、多面的に問題をとらえるようにする。
- 事例提供者を批判しない。

充実した事例研究会を行い、適切な生徒指導を展開していきたいものです。